

## 市職へ合理化攻撃

### 賃下げと勤務評定

#### 石炭政策に合せた大牟田作りかえ

「大牟田の繁榮は三井の繁榮だ」と公言してほがらない田中市長は、三井の後押しで市長に当選して以来たびたび三井のためにしてきたが、このほど市販労に対し大幅な賃下げ(給料表の改悪)と勤務評定の実施をせまってきた。このうらには政府の石炭政策、三井の第四次合理化(アルミ進出)にあわせた大牟田市の作りかえという意図がくわされている。市販労働者の闘いに連帶し、ともに石炭政策紛糾を闘い抜こう。

合理化提案の第一は給料表の大坂、中間市など他の産炭地にくらべても低い状態だった。この賃金をさらに切り下げるようとする給料表で、田中市長の番頭月二十二日市販員の給料表の改悪をもじじてきた。大牟田市販員の賃金は他都市にくらべて決して高くはない。福岡や久留はもちろん山田、田中、飯課長級は少し上がることになつて

#### 給料表の大改悪

松葉部長(三井鉱山から特別に派遣された人で三社連の事務局長たつた人、賃金は現在月九万八千九百円など部長は大幅に上がり、久留は少し上がる)ことになつて

上一般労働者の中では技術、事務関係と労働組(とくに学校給食調理員など)が差別され、引き下げ幅はもつと大きくなっている。

#### "上司の命令に従つたか"など

#### モノいわぬ労働者作る勤評

合理化の第二は勤務評定の実施である。

市役所にひどめる労働者は、こ

にくるべると三年先には大きく下長と課長から評定をされることになる。

「仕事を熱心で自ら工夫研究をこ

なめらか」が判定され、「適度に上役に判断されれば下りに配属転換などをしよう」というものである。

これが、いくら労働強化になつても黙つて偽り、上役のいうことは「ハイ」としかいわない奴隸ねば強さがあつたか」とか

「仕事を満足に早く仕上げたか」などは、なんぞや。このまわることになる。さうしたこの

としている。

上に厚く下に薄い

上役に判断されれば下りに配属転換などをしよう」というものである。

これが、なんぞや。このまわることになる。さうしたこの

としている。

上に厚く下に薄い

上役に判断されれば下りに配属転換などをしよう」というものである。